



こころちゃん



社協だより

第41号

編集
発行
〒633-
0091

社会福祉法人
桜井市社会福祉協議会
奈良県桜井市大字桜井535-1
TEL 0744-42-2724
FAX 0744-46-5052

赤い羽根共同募金運動が始まりました

運動期間：10月1日～12月31日

(12月1日からは『歳末たすけあい運動』も並行して実施されます。)

今年も皆様のあたたかい
ご協力をおねがいします。

『地域の福祉、みんなで参加』の全国統一スローガンのもと、今年も共同募金運動が始まりました。

共同募金は、民間の社会福祉事業や活動のために使われる募金です。桜井市では、市内の福祉施設や福祉団体に配分されています。

過去における本市の募金額は下記のとおりです。

	赤い羽根募金運動	歳末たすけあい運動
平成14年度	11,949,002円	3,348,036円
平成15年度	12,350,773円	3,455,534円
平成16年度	11,453,818円	3,532,166円
平成17年度	11,679,932円	2,976,620円
平成18年度	11,081,495円	3,031,647円



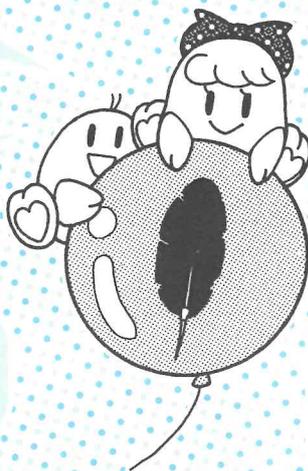
共同募金イメージキャラクター
「あいちゃん」と「希望くん」

募金の種別

○戸別募金…町内会を通じて各家庭に呼びかける募金。

○街頭募金…駅前やスーパーの店頭前で呼びかける募金。

○職域募金…企業や団体、官公庁で働く従業員に呼びかける募金。



○学校募金…児童、生徒に福祉教育の一環として呼びかける募金。

○法人募金…企業に社会貢献の一環として呼びかける募金。

○その他…店舗や施設の窓口への募金箱設置やイベント会場前で呼びかける募金。

共同募金の詳しい配分については…

<赤い羽根データベース『はねっと』をご覧ください。http://www.akaihane.or.jp>

～あなたのまちの地区社協～

地区社会福祉協議会(地区社協)紹介コーナー

朝倉地区社会福祉協議会

設立：平成14年3月17日

平成14年に慈恩寺、脇本、黒崎、竜谷、狛、岩坂、朝倉台の7つの地域が「子どもも、お年寄りも、障がいのない人も、障がいのある人も住民一人ひとりが安心して健やかに暮らせる福祉の街づくり」の願いをテーマに朝倉地区社会福祉協議会が発足しました。このテーマを達成するために、地区社協を構成する皆様の意見を聞き、見守り支援等の日常活動を実施してきました。年1回の視察研修、講師を招いての講演などを行い、今回平成19年度は、11月25日(日)午後1時から朝倉小学校で、奈良交通「お笑い演芸同好会」を招いて演芸観賞を計画しています。

地域の高齢者、日頃外出の機会の少ない方には福祉ボランティアの協力を得て、自宅から会場まで送迎をして1人でも多くの人に楽しんで頂こうと計画しています。

他の地域の皆様も歓迎いたしますので、当日は是非、朝倉小学校へおでかけ下さい。お待ちしております。



地区社協の総会風景



「朝倉台での夏祭り」住民みんながふれあう機会です。

大福地区社会福祉協議会

設立：平成14年4月13日

当地区では、近年新しい住宅の造成などで人口の流入が増加していますが、高齢化、少子化、核家族化が進んでいます。その中で、住み慣れた地域で、できるだけ元気に、永く、楽しく住み続けたい願望は強いようです。このような願いにこたえるために、子どもやお年寄り、障がいのある方などに見守りと援助を行うことにより、地域住民同士が助け合い支えあう「福祉のまちづくり」を進めることを目的としています。

◎活動内容

- ・登校時に声かけを実施
奈良市の誘拐事件を教訓に、ローテーションを組んで、1日3人が担当し、学校前や通学路で子ども達を見守りながら声かけ。
- ・夏祭りの夕べに招待
メイクするタウン作業所の方々を招待。
- ・一人暮らし高齢者宅へ年賀状
大福小学校児童に協力を頂き、1月1日に届くように発送。
- ・美化作業
不法ビラの撤去。
- ・街頭での共同募金



安全対策の一環として小学校前にて挨拶運動



美化活動(不法なポスターやビラを取り外し撤去)



校区夏祭りに作業所の方々をご招待(送迎から接待まで)



講習会のあとみんなで車いすダンス

安倍地区社会福祉協議会

設立：平成14年9月28日

安倍地区社会福祉協議会は、市社協の地域福祉委員制度の導入を機に安倍小学校区内の各自治会（生田・高田・上阿部・文殊ヶ丘・阿部新町・吉備・高家・山田・池之内・橋本の10自治会）で構成し、発足して5年が経過しました。

当地区は、開発された市街地域と旧来からある村落地域が混在しているため、高齢者数も地域により違いがあり、この現状を踏まえ、当地区社協の活動は、もっぱら自治会単位の小地域福祉部会に委ねて実施してきました。各小地域での福祉活動は、おおむね地域福祉委員や民生児童委員の創意により地域に密着した内容での「ふれあいの場」が設けられ、参加者の自立を促す場としての成果もあるようです。

一方、総括する安倍地区社協における活動は、小地域福祉部会の円滑な活動の推進を図るため、部会長会や研修会を開催するなどして部会員の資質の向上に努めております。

また、昨今頻発する災害に備えての「要支援者の救済について」を今年度の重点テーマに掲げ、実効ある方策の策定に取り組んでいるところです。今後とも、安倍地区住民の皆さんのご支援、ご協力をよろしくお願いします。



「地域でのふれあいサロン」
桜の花を見ながらみんなで健康体操！

初瀬地区社会福祉協議会

設立：平成15年2月15日

私たちの初瀬地区社会福祉協議会は、初瀬小学校区の11自治会で構成され、他の山間地と同じように少子高齢化が進んでおり、地域での人の集まりが少なくなっています。各地域での氏神様の夏祭り等を機会ととらえ、子どもと高齢者のふれあいの場のひとつとしています。ひとつの地域では、区民総出での仮装運動会を実施しているところもあります。

初瀬地区社協としては、福祉委員・民生児童委員・老人会のみなさんと手分けして、自治会ごとに小地域で一人暮らしの高齢者の訪問見守り、ふれあいサロンの開催、通学児童の登下校時の声かけなどを行っています。

また、「軽スポーツと踊りの夕べ」にも参加してバザーのお手伝いをしています。

また、自主防災組織の設立についても自治会とともに、早急な立ち上げがこれからの課題になっています。

「住民全員が住んでよかったこの町に」をめざして研修や活動を行なっています。



「福祉委員の会議」
住んでよかった初瀬地区にしていくためにみんなで意見交換をしています。



「夏まつりのようす」
子どもから高齢者まで地域のみなが交流をしています。

地区社会福祉協議会（地区社協）は、『住み慣れた地域で、安心して暮らし続けたい』という、みんなの願いを住民相互の助け合い活動で実現へとめざす組織です。桜井市内では、小学校区を単位とした「地区社協」で、地域の実情に応じた取り組みが行われています。

地区社協の活動は、自治会や民生児童委員、地域福祉委員の他に、様々な団体や個人の方がボランティアとして関わっています。今年度発行の社協だよりでは、市内にある12の地区社会福祉協議会（地区社協）を順次、紹介しています。

☆ふれあいサマー2007 夏のボランティア...

この夏は、いろんな人とふれあって一緒に楽しくボランティア活動をしました！

★大きな紙芝居を一緒に作りました！

障害者小規模通所授産施設さくらんぼの利用者さん達と一緒に、協力し合って、大きな紙芝居を作りました。この手作り紙芝居は、さくらんぼの利用者さんが、福祉活動などで上演されます。



★Shall we dance!? ~車いすダンスしよう~

障がいの有無や年齢に関係なく、それぞれのペースで踊ることが出来る車いすダンス！音楽に合わせて、ゆっくり体を動かして、ふれあうひとときは、心も体もリラックス効果抜群です。その後、レクリエーション(風船パレー)をして交流しました。



★看板作りのボランティアをしました！

多くのボランティア活動者が利用するボランティアセンターの、看板作りのボランティアをしました。参加者同士、お話をしながら、文字やイラストなど楽しい下絵が描かれた板に、色を塗り、絵を描きました。出来上がった看板は、ボランティア情報発信の拠点であるボランティアセンターの入口に、新しいシンボルとして設置されています。



★使用済み切手とプリペイドカードの整理作業

選別・整理された使用済みの切手やカードは、海外の収集家に買い取られたりしてお金にかわり、福祉・医療活動に役立てられています。また、切手やカードの収集箱を手づくりし、持ち帰って、この活動を広げてもらっています。



ボランティアセンターは、「ボランティア活動をしたい」「ボランティアに協力してほしい」「ボランティアのことを知りたい」などボランティアに関する皆さんの気持ちを、実際の活動につなげるお手伝いをしています！

桜井市ボランティアセンター（桜井市社会福祉協議会内） TEL：42-2724